

生産性向上支援訓練の活用事例

《生産管理分野》

訓練コース名 **【ものづくりの仕事のしくみと生産性向上】**

【会社概要】 金属製品製造業

訓練受講のきっかけ（経緯）

これまで「受注から納品までの工程が担当者任せで見える化が十分にできていなかった」、「工程の稼働率をもっと上げられるのではないか」、などの認識があった。今回の訓練で生産管理の基本を学ばせ諸課題を社員相互に検討する習慣づけをしたいと思いますとの事業主の想い。

【訓練のねらい】

- ①体系的な教育で課題解決の為の考え方、手法を学ばせたい。
- ②その中でムダの削減や改善の目的つけ所を学ばせたい。
- ③演習の討議などで、自主性、自発性を持たせる契機としたい。

訓練の実施状況

訓練の概要

- 平成30年7月、8月に計2回、12時間。
中堅社員11名が受講。

○主な内容

- ①ものづくりの仕事の流れ
- ②QCD、SM、5Sなど
- ③ものづくりに関する業務改善

④演習

ケーススタディで問題発見と改善案作成
「徹底的なムダの排除」をテーマとしたグループ討議

⑤応用・実践要素

自職場における現状分析・問題点発見と改善案



受講した感想

【受講者の声】

- これまで勉強の機会がなかった改善活動手法が理解できた。
- 演習なども含めて改善に向けた分析や課題整理、実践を体系的に学ぶことができた。
- 討議の中で女性社員の意外な積極性を感じ、共に取り組みたい。

【事業主の声】

- 現場の改善を行っていく上で更なる動機づけになったと思う。
- 今後、中堅社員も巻き込んだ活動で、活かしていきたい。
- 知識習得や意欲の向上に今後も定期的な訓練実施を考えたい。